

研究実施のお知らせ

2025 年 11 月 17 日 ver.1.0

研究課題名

尿中ヘリコバクター・ピロリ抗体検査に関する後方視的研究

研究の対象となる方

2010 年 10 月から 2026 年 1 月までに島根大学医学部附属病院で実施した人間ドックを受検した方のうち、尿中ヘリコバクター・ピロリ抗体検査を行った方

研究の目的・意義

本研究は、人間ドックにおける尿中ヘリコバクター・ピロリ抗体検査の臨床的意義、有用性や問題点を明らかにすることを目的としています。人間ドックでは、尿検体のヘリコバクター・ピロリ抗体の有無を定性キットで測定し、結果は 2 人の検査技師が確認しています。ヘリコバクター・ピロリ菌は胃内に感染すると萎縮性胃炎、胃潰瘍、さらに胃がん発症の原因となりうると報告されており、治療法が確立されています。感染の有無をスクリーニングする検査にはいくつかありますが、抗体検査では常に、偽陽性・偽陰性の問題があります。しかし、経年的な調査報告はほとんどありません。本研究成果は、ドックや健診における本検査の貴重な資料となります。

研究の方法

本研究は、島根大学医学部医学研究倫理委員会の承認を受け、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省・経済産業省）」に従って、氏名と生年月日を削除し、研究用の ID を付与した情報を用いて行います。収集したデータは、島根大学医学部臨床検査医学講座内の外部から容易にアクセスできない PC に保管し、個人が特定できる情報を加工・削除した情報を使用しますので、個人が特定される心配はありません。

利用する情報は、以下の通りです。

健診受診日、健診時年齢、性別、尿中ヘリコバクター・ピロリ抗体、過去のピロリ除菌歴、紹介状、紹介状の返信、胃内視鏡検査結果

研究の期間

2026 年 1 月 28 日～2029 年 3 月 31 日まで

研究の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や医学雑誌などで公表します。その際にあなたのお名前など個人を特定できる情報を使用することはありません。

研究組織

研究責任者

島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、島根大学医学部附属病院検査部へ 2026 年 7 月末までをお願いいたします。それ以降は解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部臨床検査医学講座 矢野彰三

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話：0853-20- 2409 FAX：0853-20- 2409